

<b>授業科目名</b>	成人看護学概論(2300211)		
<b>時間割名</b>	成人看護学概論(31206)		
<b>時間割担当</b>	藤田智恵子		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	2 必修
<b>曜日・時限</b>	月・3		

### 授業の目標・概要

人間の成長発達課題における成人期の特質について、身体的・精神的・社会的側面から理解する。また、成人期にある人々の様々な健康障害の原因や要因を学び、健康の回復、あるいは健康の保持増進に向けての看護援助の方法について学ぶ。

### 学習の到達目標

1. 最新の情報やデータに基づき、現代社会を見据えながら成人期の健康状態や健康障害について理解する。  
また、成人期を生活の視点で捉え、成人期にある人のQOL向上を目指した看護への基本的な援助方法を学ぶ。
2. 健康の破綻をきたした人への看護技術を学ぶ。また、侵襲的治療を受ける患者への看護技術や緩和ケアへの看護などを学ぶ。

### 授業方法・形式

講義

### 授業計画

- 第1回 成人と生活  
発達段階、家族や社会の役割から見た成人の特徴について学ぶ。
- 第2回 生活と健康  
生活からとらえる健康、健康をまもりはぐくむシステムについて学ぶ。
- 第3回 成人への看護アプローチの基本  
健康問題を持つ大人と看護師の人間関係、チームアプローチ等について学ぶ。
- 第4回 ヘルスプロモーションと看護  
ヘルスプロモーションと看護について学ぶ。
- 第5回 健康をおびやかす要因と看護  
健康バランスに影響を及ぼす要因、生活行動がもたらす健康とその予防等について学ぶ。
- 第6回 健康生活の急激な破綻から回復を促す看護  
急激な健康破綻をきたした人への看護、救急看護について学ぶ。
- 第7回 健康生活の慢性的な揺らぎの再調整を促す看護  
慢性的な健康状態の揺らぎを持つ患者に対する慢性期病との共存の過程を支える看護等について学ぶ。
- 第8回 障害がある人の生活とリハビリテーション  
障害のある人とリハビリテーション、障害がある人とその生活を支援する看護について学ぶ。
- 第9回 人生の最期のときを支える看護  
終末医療の現状、概念、人生最期のときを支える看護等について学ぶ。
- 第10回 学習者である患者への看護技術  
エンパワーメントエデュケーション、セルフマネジメントを促進する看護技術等について学ぶ
- 第11回 治療過程にある患者への看護技術  
主体的治療・療養行動促進の看護技術、治療に伴う苦痛軽減の看護技術等について学ぶ。
- 第12回 治療過程にある患者への看護技術  
安全・安楽・安心を援助する看護技術、ボディイメージの変化に対応する看護技術等について学ぶ。
- 第13回 症状マネジメントにおける看護技術  
症状マネジメントと看護、症状マネジメントモデルから導かれた看護アプローチ等について学ぶ。
- 第14回 退院支援の看護技術  
退院支援の必要性和具体的方法について学ぶ。
- 第15回 がんとの共生を促す看護技術・新たな治療法、先端医療と看護  
がんヘルスリテラシーを促進する看護技術、新たな治療法、先端医療の現状・患者・家族への看護について学ぶ。

## 成績評価の基準

定期試験70%、小レポート20%、授業への参加状況10%

## 準備学習・復習及び授業時間外の課題

主たる看護理論を復習しておくこと。必ず予習をして授業に臨んでください。  
講義で扱った重要概念やキーワードとなる用語は自分で復習しておくこと。

## 履修上のアドバイス及び留意点

主体的に学習して下さい。

## 教材・教科書

系統看護学講座「成人看護学総論」 医学書院  
系統看護学講座「別巻 臨床外科看護総論」 医学書院

## 参考書

適宜紹介します。